

春休みの米国訪問激励

磐城高・小幡さんら3人を

NPO法人Hope for Tomorrow

(東京都)の「春休み米国訪問プログラム2013」に参加する磐城高生への激励式は9日、いわき市の同

校で行われた。

同校は昨年11月から、同NPOの支援を受けエール大の学生とインターネットのテレビ電話サービス「スカイプ」を使った海外交流



磐城高で行われた米国訪問の激励会

に取り組んでいる。今回の米国訪問では、スカイプで交流する本人同士が実際に会うことで相互理解を深め、国際的な視野を養う。

プログラムでは30日から4月5日まで、米国の進学校ホーレス・マン・スクールの在校生宅にホームステイし、同校に通う。

参加するのは小幡俊貴さん(2年)小宅真理さん(同)中野夏海さん(同)の3人。岩手県の高田高、宮城県の気仙沼高の生徒3人も参加する。

激励式では石村雅子同NPO理事があいさつ。生徒たちにホーレス・マン・スクールからの招待状が贈られた。星浩次校長が激励。生徒たちが決意表明した。